

## 令和4年度 小施策評価シート

作成日	令和4年4月20日	作成課	料金施設課	作成者	今田 英敏
小施策	04	-	09	-	01 上下水道の衛生管理

### 1. 小施策の位置づけ<Plan>

都市将来像	未来をひらく にぎわいとやすらぎのコミュニティ都市				
政策	04	都市と自然が共生した安全で安心なまちづくり			
大施策	09	上下水道の衛生管理とお客様サービスの向上	-		
めざそう値	-				
	設定時	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	-	-	-	-	-
現状と課題	ビルやマンションなどの小規模貯水槽水道の衛生管理および特定事業場、飲食店などの排水管理が適正に行われない場合、衛生上の問題や下水道施設への悪影響が懸念されます。本市では、小規模貯水槽水道設置者や特定事業場などに対して、適正管理に関する指導を行っており、今後も継続していく必要があります。 また、民間事業者のノウハウの活用による窓口サービスの提供に努めており、今後も継続していく必要があります。				
大施策の基本目標	宅地内の上下水道の衛生管理を徹底し、安全で安心な水道水の提供や市民生活環境、公衆衛生の保全を図ります。また、お客様ニーズの把握に努め、満足度の高いサービスの提供に努めます。				
小施策	01	上下水道の衛生管理			
小施策の基本目標	小規模貯水槽水道の衛生管理指導および特定事業場などからの排水の監視や水質検査の実施・指導を行います。				

### 2-1. 小施策を構成する事務事業<Do> (詳細は別紙3参照)

事業1	小規模貯水槽水道の衛生管理指導	事業13	
事業2	事業場排水の指導	事業14	
事業3		事業15	
事業4		事業16	
事業5		事業17	
事業6		事業18	
事業7		事業19	
事業8		事業20	
事業9		事業21	
事業10		事業22	
事業11		事業23	
事業12		事業24	

### 2-2. 小施策に投入する業務量と事業費<Do>

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
工 下	業務量(正規)		342時間	690時間
	業務量(会計)		0時間	336時間
	業務量合計		342時間	1,026時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カ ネ	事業費	737千円	772千円	1,114千円

一般財源	737千円	772千円	1,114千円
特定財源	0千円	0千円	0千円

### 3. 小施策における客観的成果(主な指標)<Check>

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:達成値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小規模貯水槽水道の法定検査に準ずる検査の受検率	%	50	42	44	48	50	52
油脂による下水道管閉塞事故件数	件/年	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下
			4	1	0		
成果の達成原因・未達成の原因と達成に向けた改善点等	・検査受検率…R3年度の実施状況調査について、通知内容等見直しを図り実施した結果、受検率が向上した。 ・閉塞事故件数…下水道管への悪影響が懸念される事業場等を的確に選定し、閉塞事故防止や水質保全の指導を行った。						
主な関連事務事業	専用水道・簡易専用水道管理調査業務						

### 4. 小施策の展開<Action>

過去の施策マネジメント 診断結果 (小施策への診断)	診断実施年度: 未実施
	未実施
小施策の目標達成に向けた課題(達成に向けて必要なこと)	・小規模貯水槽水道について、検査の受検は市給水条例による努力規定のため、適正管理に対する認識が低い。簡易専用水道(法定義務)に準じた管理を行うよう周知・啓発及び指導の強化を図る必要がある。 ・事業場排水の指導について、効果的なアプローチを行うためには、調査対象事業場及び飲食店等の選定基準を明確にする必要がある。
小施策の目標達成に向けた取組の方向性(上記課題を解決するために実施すること)	引き続き、周知・啓発及び指導の強化(手法の工夫等)を図りながら、適正管理に対する認識の高揚を図っていく。

(空白)

別紙1 小施策構成事務事業一覧表(事業費、業務量)

事業番号		小施策		上下水道の衛生管理					作成課	料金施設課		計	10名
		職員構成		係長	1名	担当	3名	再任用PM	0名	再任用	1名		
事業番号		上段:総事業費(単位:千円) 下段:特定財源(単位:千円)			事業費、特定財源に関するコメント (主な増減理由等)	業務量(単位:時間)			業務量に関するコメント (主な作業、増減理由等)	備考			
事業番号		R2年度決算	R3年度見込	R4年度予算		R2年度実績	R3年度実績	R4年度計画					
計		737千円	772千円	1,114千円				342時間	1,026時間				
		0千円	0千円	0千円									
1	小規模貯水槽水道の衛生管理指導	117千円	116千円	216千円	・印刷、郵送費			268時間	839時間				
		0千円	0千円	0千円									
2	事業場排水の指導	620千円	656千円	898千円	・水質検査委託料(20件分)			74時間	187時間				
		0千円	0千円	0千円									
3		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
4		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
5		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
6		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
7		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
8		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
9		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
10		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
11		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
12		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
13		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									
14		0千円	0千円	0千円				0時間	0時間				
		0千円	0千円	0千円									

(空白)

別紙2_小施策構成事務事業各概要		小施策名		上下水道の衛生管理												
事業番号	事務事業名	事業概要(目標は総合計画の目標年度)														
		事業区分	根拠法令・要綱等	事業の性質	市の実施義務	目的【何のためにこの事務事業を実施するのか】	直接対象【誰(何)を対象にこの事務事業を実施するのか】	対象規模(人数等)	手段【どのような手段でこの事務事業を実施するのか】	期待される成果【左記の手段をとることで、誰にどのような成果がもたらされることを期待するのか】	実施形態【外部委託の状況、補助・助成の状況】		筑紫地区等近隣自治体との比較	本市の水準、順位等	小施策への貢献度【左の成果をあげることにより、小施策の目標達成にどのような影響を与える(ことが期待できる)か】	貢献度
1	小規模貯水槽水道の衛生管理指導	経常事業	・大野城市水道事業給水条例第37条、第38条の2 ・大野城市水道事業給水条例施行規程第19条	自治事務	義務規定	受水槽(有効容量10m <sup>3</sup> 以下)を経由して水道水を使用する市民に対して、衛生的で安全な飲用水を安定して供給するため。	小規模貯水槽の設置者等	793人	年に1回、受水槽の清掃及び検査の実施状況調査を行い、未実施者及び検査結果不良者に対して指導・啓発を行う。	小規模貯水槽水道の設置者等の責務(適正管理)に対する認識の高揚が期待される。	直営	補助無し。	筑紫地区においても同様の業務を実施している。	同程度	受水槽(有効容量10m <sup>3</sup> 以下)を経由して水道水を使用する市民に対して、衛生的で安全な飲用水を安定して供給できる。	高 (3点)
2	事業場排水の指導	経常事業	・下水道条例第8条	自治事務	義務規定	下水道管閉塞事故の防止や公共用水域の水質保全を行うことで、市民が快適で安全な暮らしを維持できるようにするため。	特定事業場や油を多用する飲食店等	50人	事業場等からの排水について、年に20件の成分検査及び年に30件の公共汚水樹の目視調査を実施し、下水道管や河川への悪影響が懸念される事業場等に対して、閉塞事故防止や水質保全の指導を行う。	事業場の下水道管の閉塞事故を無くす。	一部委託	・排水の成分検査は外部委託。 ・補助無し。	筑紫地区においても同様の業務を実施している。	同程度	悪質下水の排出を抑制することで、下水道管閉塞事故の防止や公共用水域の水質保全につながり、市民に対して快適で安全な暮らしを維持することができる。	中 (2点)
3																
4																
5																
6																
7																

別紙2_小施策構成事務事業各概要		小施策名										上下水道の衛生管理	
事業番号	事務事業名	小施策の目標を踏まえた現状と課題				小施策の目標達成に向けた今年度以降の事務事業の方向性			優先順位		備考		
		現時点の成果達成状況	診断実施年度：未実施		現時点の課題	今後の方向性	事業費の方向性	業務量の方向性	事務事業の今後の取組の方向性(コメント)	貢献度+進捗度+方向性		優先順位	
		達成度	【現時点ではどのような成果がでているか(左記の当初期待される効果及び当初は期待していなかった効果の発現状況)】		過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	【期待される成果をあげるため(小施策の目標達成に貢献するために)必要なことは何か】							
1	小規模貯水槽水道の衛生管理指導	当該年度目標達成(2点)	実施状況調査について、通知内容等見直しを図り実施した結果、R3年度の受検率が向上した。		未実施 未実施	検査の受検は市給水条例による努力規定のため、適正管理に対する認識が低い。簡易専用水道(法定義務)に準じた管理を行うよう周知・啓発及び指導の強化を図る必要がある。	現状のまま継続(3点)	維持	維持	引き続き周知・啓発及び指導の強化(手法の工夫等)を図りながら、適正管理に対する認識の高揚に努め、簡易専用水道と同レベルの受検率を目指す。	8	対象外	
2	事業場排水の指導	最終年度目標達成(1点)	R3年度の閉塞事故件数は目標値である1件以下に抑えることができた。		未実施 未実施	調査対象事業場及び飲食店等の選定基準を明確にし、効果的なアプローチを行う必要がある。	現状のまま継続(3点)	維持	維持	今後も下水道管への悪影響が懸念される事業場等を的確に選定し、水質検査及び指導を継続して実施する。	6	対象外	
3													
4													
5													
6													
7													

別紙3\_事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	上下水道の衛生管理			
事務事業名	事業1	小規模貯水槽水道の衛生管理指導		
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1		4	
	2		5	
	3		6	
所管部署	料金施設課	事業区分	経常事業	
根拠法令・要綱等	・大野城市水道事業給水条例第37条、第38条の2 ・大野城市水道事業給水条例施行規程第19条			
事業の性質	自治事務	市の実施義務	義務規定	

目的	受水槽(有効容量10m <sup>3</sup> 以下)を經由して水道水を使用する市民に対して、衛生的で安全な飲用水を安定して供給するため。	
対象	小規模貯水槽の設置者等	
対象者数	793人	
手段(活動)	年に1回、受水槽の清掃及び検査の実施状況調査を行い、未実施者及び検査結果不良者に対して指導・啓発を行う。	
期待される成果	小規模貯水槽水道の設置者等の責務(適正管理)に対する認識の高揚が期待される。	
実施形態	直営	補助無し。
筑紫地区等近隣自治体との比較	筑紫地区においても同様の業務を実施している。	同程度

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		268時間	514時間
	業務量(会計)		0時間	325時間
	業務量合計		268時間	839時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	117千円	116千円	216千円

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
財源	一般財源	117千円	116千円	216千円
	特定財源	0千円	0千円	0千円
	特定財源内容			

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	小規模貯水槽水道設置者等への受検促進に係る周知・啓発	回	/	1	1	1	1	1
				1	2	2		
活動指標②			/					
成果指標①	小規模貯水槽水道の法定検査に準ずる検査の受検率	%	52	42	44	48	50	52
				29	47	49		
成果指標②								
上記指標に表れない成果等								

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	未実施	診断実施年度:未実施	事務事業の今後の取組の方向性	現状のまま継続(3点)
未実施			引き続き周知・啓発及び指導の強化(手法の工夫等)を図りながら、適正管理に対する認識の高揚に努め、簡易専用水道と同レベルの受検率を目指す。	

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和3年度実績					令和4年度計画					備考(増減理由等)		
		正規職員等					会計年度	正規職員等					会計年度	
		計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM			再任用
	計	268	30	238	0	0	0	514	0	514	0	0	325	
1	小規模貯水槽調査業務	1	0	1	0	0	0	268	0	268	0	0	176	R3年度は会計年度職員が病休等により2名減となったため、課長(約100h)及び会計年度職員1名(約200h)で対応したが、R3年度実績値に含まれていない。(1h→268h)
2	専用水道・簡易専用水道管理調査業務	267	30	237	0	0	0	246	0	246	0	0	149	会計年度職員のR3実績は未集計
3		0						0						
4		0						0						
5		0						0						
6		0						0						
7		0						0						
8		0						0						
9		0						0						
10		0						0						
11		0						0						
12		0						0						
13		0						0						
14		0						0						
15		0						0						

別紙3\_事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	上下水道の衛生管理				
事務事業名	事業2	事業場排水の指導			
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4	
	2			5	
	3			6	
所管部署	料金施設課		事業区分	経常事業	
根拠法令・要綱等	下水道条例第8条				
事業の性質	自治事務		市の実施義務	義務規定	

目的	下水道管閉塞事故の防止や公共水域の水質保全を行うことで、市民が快適で安全な暮らしを維持できるようにするため。	
対象	特定事業場や油を多用する飲食店等	
対象者数	50人	
手段(活動)	事業場等からの排水について、年に20件の成分検査及び年に30件の公共汚水柵の目視調査を実施し、下水道管や河川への悪影響が懸念される事業場等に対して、閉塞事故防止や水質保全の指導を行う。	
期待される成果	事業場の下水道管の閉塞事故を無くす。	
実施形態	一部委託	・排水の成分検査は外部委託。 ・補助無し。
筑紫地区等 近隣自治体との比較	筑紫地区においても同様の業務を実施している。	同程度

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	未実施	診断実施年度: 未実施	事務事業の今後の取組の方向性	現状のまま継続(3点)
未実施	今後も下水道管への悪影響が懸念される事業場等を的確に選定し、水質検査及び指導を継続して実施する。			

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		74時間	177時間
	業務量(会計)		0時間	10時間
	業務量合計		74時間	187時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	620千円	656千円	898千円

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
財源	一般財源	620千円	656千円	898千円
	特定財源			
	特定財源内容			

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	事業場等への成分分析検査	件		20	20	20	20	20
活動指標②				20	20	20		
成果指標①	下水道管の閉塞事故	件	1件以下/年	1件以下/年 4	1件以下/年 1	1件以下/年 0	1件以下/年	1件以下/年
成果指標②								
上記指標に表れない成果等								

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和3年度実績					令和4年度計画					備考(増減理由等)		
		正規職員等					会計年度	正規職員等					会計年度	
		計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM			再任用
	計	74	0	64	0	10	0	177	0	163	0	13	10	
1	事業場水質検査委託業務	50	0	50	0	0	0	67	0	67	0	0	0	
2	污水管閉塞防止(冬季)調査業務	17	0	7	0	10	0	42	0	29	0	13	10	異動したばかりの職員が担当することと応援要員の時間も見込んだため。(17h→42h)
3	特定事業場管理・受付業務	7	0	7	0	0	0	67	0	67	0	0	0	R3年度は簡易な案件(洗車機等の入れ替え)しか発生しなかったが、R4年度は新規案件3~4件程度の処理時間を見込んだため。(7h→67h)
4		0						0						
5		0						0						
6		0						0						
7		0						0						
8		0						0						
9		0						0						
10		0						0						
11		0						0						
12		0						0						
13		0						0						
14		0						0						
15		0						0						